コミュニティバス運行の経緯について

1. バス実証運行（平成28・29年度）の概要

（1）交通会議の設置

平成28年3月末をもってバス路線の廃止表明を受け、本町は、同年4月以降における交通空白区域の解消を図るため、道路運送法に基づく「岬町地域公共交通会議」を設置し、「岬町地域公共交通基本計画」を策定するとともに、コミュニティバスの運行及びその運行方法について協議を行いました。

（2）市町村運営有償運送の導入

○コミュニティバスを運行する4条事業者がないことから、道路運送法に基づく「市町村運営有償運送」方式により、町が運行主体となり、コミュニティバスを継続運行することを決定し、平成28年度、29年度の2カ年を実証運行期間と位置づけ運行を行いました。

（3）実証運行内容の概要

（運行路線及びバス停）

【平成28年度】

○望海坂から小島住吉まで運行する「基本路線」と、集落が散在する山間部を運行し基本路線に乗り継ぐための「乗継支線」の路線を設定する。ただし、乗継支線は基本路線への乗り継ぎを基本として、最短の基本路線バス停までの区間を運行する。

○バス停留所は、基本路線、乗継支線とも現行のバス停留所位置を基本とした。

なお、地域の実態及び住民のニーズを踏まえ、新たにバス停留所の設置、バス停留所の名称等を変更した。

【平成29年度】

○基本路線の運行は28年度と同様とし、乗継支線の路線を次のように変更する。
また、29年4月に開駅した「道の駅みさき」には、みさき公園駅ルートから淡輪駅ルート間において経由することとする。

○乗継支線の路線と基本路線とが重複する路線のバス停留所には、乗継支線も停車するものとする。

（運行日及び便数）

【平成28年度】

《基本路線》

○年間を通じて運行し、月曜日から金曜日までの平日ダイヤと、土日祝日の休日ダイヤで運行する。年末年始は休日ダイヤで運行する。

望海坂→小島・小島→望海坂の両方面とも 平日21便 休日12便

《乗継支線》

○基本路線と同様に年間運行し、平日ダイヤと休日ダイヤで運行する。年末年始は休日ダイヤで運行する。

西畑、東畑、孝子ルート 平日4便 休日2便

みさき公園駅、淡輪駅ルート 平日6便 休日3便

【平成29年度】

《基本路線》

○28年度と同様の運行形態、便数にて運行する。

《乗継支線》

○28年度と同様の運行形態とし、便数は次のとおりとする。

西畑、東畑、孝子ルート 平日4便 休日3便

みさき公園駅、淡輪駅ルート 平日6便 休日5便

(バス運行の委託と運行車両)

【平成28年度】

《基本路線》

○基本路線の運行及び運行管理並びに車両整備管理を、4条事業者である「有田交通㈱」に委託する。

○運行車両は、岬町が調達した自家用自動車、29人乗りマイクロバス2台、13人乗りコンピューター2台（予備車1台）を使用し運行する。

《乗継支線》

○乗継支線の運行及び運行管理並びに車両整備管理は、岬町が直営で行う。

○運行車両は、10人乗りハイエース1台にて、乗継支線の全ルートを実行する。

【平成29年度】

《基本路線》

○前年度と同様の形態にて運行する。

《乗継支線》

○10人乗りハイエース2台にて、西畑・東畑・孝子ルートと、みさき公園駅・淡輪駅ルートを実行する。

(運賃)

【平成28年度】

《基本路線》

○運賃は、大人及び小児とも100円均一とする。ただし、6歳未満の幼児を同伴する保護者の運賃は、同伴の幼児及び保護者ともに無料とする。

○回数券（11枚綴り1,000円、22枚綴り2,000円）の発行。

《乗継支線》

○乗継支線の運行ルートは基本路線の最短バス停留所までとするなか、運行ルートや運行本数及び運行時間など、基本路線とのサービス内容の相違を考慮し、当分の間無料とする。

【平成29年度】

《基本路線》

○大人及び小児とも1人100円とする。ただし、6歳未満の幼児及び同伴の保護者、また、障害者手帳等の提示者及び同介護者については無料とする。また、基本路線と乗継支線の相互間を乗り継ぐ場合は、無償で乗継乗車券を発行する。

《乗継支線》

○有償運行制度へ移行し、基本路線と同一の運賃、割引制度とする。

2. 実証運行期間（平成 28、29 年度）のバス利用状況について

（1）乗車人数の状況について

①基本路線及び乗継支線の乗車人数

○前年度と比較して平成 29 年度は、基本路線、乗継支線とも増加（6,825 人、5.8%）しています。特に、乗継支線の乗車人数が大きく増加しています。

（単位：人）

		H29 (A)	H28 (B)	増減 (A) - (B)
基本路線		112,813	111,002	1,811
	望海坂行	54,456	53,534	922
	小島行	58,357	57,468	889
乗継支線		10,994	5,980	5,014
	西畑	2,000	333	1,667
	東畑	1,117	216	901
	孝子	1,198	1,180	18
	みさき公園駅	3,213	2,174	1,039
	淡輪駅	2,190	2,077	113
	道の駅	1,276		1,276
乗車人数合計		123,807	116,982	6,825

②1 便あたりの乗車人数

○29 年度では、孝子路線以外で 1 便あたりの乗車数は増加しています。特に乗継支線の、西畑・東畑、みさき公園駅ルートが増加が大きくなっています。

（単位：人）

		H29 (A)	H28 (B)	増減 (A) - (B)
基本路線		8.6	8.4	0.2
	望海坂行	8.3	8.1	0.2
	小島行	8.9	8.7	0.2
乗継支線		0.9	0.8	0.1
	西畑	1.5	0.3	1.2
	東畑	0.8	0.2	0.6
	孝子	0.9	1.0	△0.1
	みさき公園駅	1.6	1.2	0.4
	淡輪駅	1.1	1.1	0.0
	道の駅	0.3		皆増

3. 実証期間中の路線等の見直し状況

①乗継支線みさき公園駅でのダイヤ改正

○基本路線又は支線への乗継時間を短縮するため、乗継支線のみさき公園駅及び淡輪駅ルートの日ダイヤを、平成28年11月7日に改正しバス利用者の増加に繋がりました。

②基本路線谷川行き最終便時間延長への対応

○みさき公園駅発谷川行き最終便の時間延長要望があり、28年12月及び29年9月に最終便に1便追加する試験運行を行ったが、低いニーズ結果を踏まえ、現行の谷川行き最終便の時間延長を行わず、今後も需要把握に努めることにした。

③基本路線における土曜日の小島発始発時間繰上げ

○小島発望海坂行き始発時間（休日9時40分発）の繰上げ要望があり、29年9月及び10月の2カ月間の土曜日の始発時間を繰り上げる試験運行の結果を踏まえ、土曜日を含めた休日の小島発始発時間を8時30分に繰り上げることにした。

④乗継支線の有償運行制度への移行と各路線のルート変更

○無償運行としていた乗継支線を、29年度から有償運行に移行し、あわせて各路線のルートを変更しました。また、乗継支線のバス停と基本路線のバス停が重複するバス停にも停車することとしました。また、みさき公園駅ルートと淡輪駅ルート間では、29年4月に開駅した「道の駅みさき」を経由することとしました。

○29年度から乗継支線の有償運行への移行に伴い、基本路線から乗継支線に、乗継支線から基本路線に、それぞれ異なる運行路線に乗り継ごうとするときは、無償で乗継乗車券を発行しています。

《乗継乗車券の発行状況》

乗継券利用者 1,151人

基本路線⇒乗継支線への利用 510人

乗継支線⇒基本路線への利用 641人

4. バス事業に係る収支状況について

①バス事業全体の収支状況

(単位：千円・%)

	収入	支出	差引	収支率
28年度(A)	9,491	66,582	△ 57,091	14.3
29年度(B)	9,839	69,383	△ 59,544	14.2
増減(B)-(A)	348	2,801	△ 2,453	△ 0.1

(事務局費1,678千円を含む)

(事務局費1,284千円を含む)

②路線別の収支内訳

《基本路線》

【運賃等収入の内訳】

(単位：千円)

	現金	回数券	大新東	計
28年度(A)	7,198	2,176	117	9,491
29年度(B)	6,392	2,231	10	8,633
増減(B)-(A)	△ 806	55	△ 107	△ 858

【支出の内訳】

(単位：千円)

節	29年度 決算額 (D)	28年度 決算額 (F)	増減	説明
消耗品費	17	295	△ 278	事務用品等消耗品
修繕料	2,052	1,250	802	運行車両車検、法定点検等
損害保険料	304	318	△ 14	運行車両自賠・任意保険料
手数料	56	52	4	車検時等手数料
委託料	52,607	52,720	△ 113	コミュニティバス基本路線運行委託料
公課費	69	69	0	車検時重量税
合計	55,105	54,704	401	

《乗継支線》

【運賃等収入の内訳】

(単位：千円)

	現金	回数券	大新東	計
28年度(A)	0	0	0	0
29年度(B)	750	453	3	1,206
増減(B)-(A)	750	453	3	1,206

H28年度は無償運行

【支出の内訳】

(単位：千円)

節	29年度 決算額 (D)	28年度 決算額 (F)	増減	説明
給料	2,748	3,658	△ 910	再任用職員運転手2名→1名
職員手当等	738	1,005	△ 267	再任用職員超勤、通勤、期末、勤勉等
共済費	546	0	546	労働保険料、社会保険料
賃金	6,119	3,610	2,509	臨時職員運転手3名→6名
消耗品費	46	98	△ 52	事務用品等消耗品
燃料費	1,938	1,382	556	乗継支線車両用燃料費
修繕料	761	290	471	運行車両法定点検等
損害保険料	98	111	△ 13	運行車両自賠・任意保険料
備品購入費	0	46	△ 46	行先表示
合計	12,994	10,200	2,794	

5. アンケート調査結果の概要

○2カ年の実証運行期間において、バスに乗車された方を対象とした利用者意識調査を、また、28年度では本町全世帯を対象に、29年度では18歳以上の方を無作為抽出し、岬町の公共交通に関するアンケート調査を実施しました。

アンケート調査でのバス運行に関する問題点や改善点等のご意見、概要は次のとおりです。

調査	項目	平成29年度	平成28年度
利用者意識調査	バス運行の問題点や改善点	便数を増やして 27.6% 鉄道とバスの乗継改善 18.1% 時間帯、運行時間の延長 14.6% バス停の屋根、ベンチ 9.5%	便数を増やして 30.1% 鉄道とバスの乗継改善 21.7% 時間帯、運行時間の延長 21.2% バス停の屋根、ベンチ 11.1%
公共交通に関するアンケート調査	バスを使用した外出機会	増加した 13.5% やや増加した 21.5%	増加した 13.8% やや増加した 14.2%
	今後のバス運行内容見直し	鉄道とバスの接続改善 22.8% 運行本数を増やす 17.9% 行先や乗継の表示 10.1% 屋根やベンチの設置などバス停の整備 9.0%	鉄道とバスの接続改善 20.9% 運行本数を増やす 18.0% 病院やスーパーの近くにバス停留所を設置 8.1% 屋根やベンチの設置などバス停の整備 7.8%
	バス運行に係る町負担のあり方	町負担額を現状と同程度とし、サービス水準を維持 47.5% 町負担額を減額し、サービス水準を引き下げ 19.6% 町負担額を増額し、サービス水準を向上 7.9%	町負担額を現状と同程度とし、サービス水準を維持 44.5% 町負担額を減額し、サービス水準を引き下げ 19.8% 町負担額を増額し、サービス水準を向上 10.4%

6. バス事業の評価について

○バス事業についての利用者数、収支率、満足度、利便性といった評価指標を設け、それに対する目標値を設定し、改善計画を図りながら、運行のあり方を検証するため、バス事業の評価制度を行うものである。

○平成29年度におけるバス事業評価結果では、「1便あたりの利用者数」、「収支率」、「利便性」では、28年度から向上しているが、目標値には至っておらず未達成である。「満足度」においては、運行ダイヤに対する満足度が前年度と同じく目標値に達しておらず、他の項目については前年度を上回り目標値を上回っている。

○項目によっては一部達成できているものもあるが、全体として達成できていない状況である。

バス事業の評価結果

評価指標及び目標値	平成28年度実績 (調査結果)	平成29年度実績 (調査結果)	評価結果・評価基準からの方向性
1便あたりの平均利用者数 (基本路線9人以上、乗継支線2人以上)	1便あたり平均利用者数 基本路線8.4人 乗継支線0.8人	1便あたり平均利用者数 基本路線8.6人 乗継支線0.9人	○未達成 1便当たりの利用者数は前年度から増加している。利用者増加策の検討及び実施
収支率 (基本路線30%以上)	基本路線収支率 17.4% 但し、無料措置が無ければ21.6%	基本路線収支率 15.7% 但し、無料措置が無ければ21.0%	○未達成 改善策の検討
満足度 (1年目50%以上、2年目以降60%以上) 「満足」及び「やや満足」の合計値の割合をいう。	バス利用者意識調査結果(平成28年7月実施)による。 ○運行ダイヤ 24.5% ○バスルート 54.4% ○バス運賃 83.9% ○運転士マナー 75.7%	バス利用者意識調査結果(平成29年7月実施)による。 ○運行ダイヤ 30.6% ○バスルート 65.4% ○バス運賃 90.5% ○運転士マナー 88.2%	○一部未達成 運行ダイヤに対する満足度が前年度と同じく目標値に達しておらず、他の項目については前年度を上回り目標値を上回っている。 運行ダイヤに係るニーズの把握、改善策の検討及び実施が必要。 なお、達成項目については、更なる満足度向上策の検討及び実施に努める。
利便性 (1年目50%以上、2年目以降60%以上) 外出機会が「増加」及び「やや増加」した住民の割合をいう。	公共交通に関する住民アンケート調査結果(平成28年8月実施)による。 28.0%	公共交通に関する住民アンケート調査結果(平成29年8月実施)による。 35.0%	○未達成 バスを利用しての外出機会は前年度より増加しているが、目標値には達していない。運行ダイヤの見直し等、満足度の向上策の検討及び実施